



■ テーマ名

- ① 移乗用具 (リフト、ボード、シートなど) の効果的な利用法や普及促進
- ② 車椅子や椅子の座り心地、姿勢に関する研究
- ③ 移動用具 (車椅子、歩行器など) の開発・普及促進
- ④ 移乗用具 (リフト、ボード、シートなど) の開発・普及促進
- ⑤ 車椅子着付け手法の検証と普及促進
- ⑥ ポジショニング・クッションの開発と検証、比較研究
- ⑦ ロボット介護機器に関する研究

■ キーワード

福祉用具、車椅子、リハビリテーション機器、座位移乗用具、介護ロボット

■ 研究の概要

在宅生活を支援するための福祉用具および自助具などの開発と機器の有用な使い方に対する研究を行っている。

<その他の活動やこれまでの経歴>

- (財)テクノエイド協会 福祉用具プランナー講師
- (財)テクノエイド協会 介護ロボットモニター委員会委員
- 各都道府県の介護実習普及センター 福祉用具活用研修 講師
- 国際福祉機器展セミナー 講師
- バリアフリー展セミナー 講師
- 日本作業療法士協会 福祉用具研修 講師

車椅子の開発

高齢者用椅子の開発

姿勢修正を目指したクッションの開発

<主たる担当講義> 福祉用具支援技術論、福祉用具支援技術論実習、多職種連携論、住居学、福祉用具特論 (大学院)、生活支援学特論 (大学院)、医療教育学特論 (大学院)、研究法特論 (大学院)、総合リハビリテーション学特論 (大学院)、現代の医療と福祉Ⅱ (共通教育)

■ 他の研究/技術との相違点

ハードウェアの開発ばかりでなく、どう使われるか、どう使うのかといったソフトウェア部分も視野に入れた機器開発および取り扱い手法の開発を心がけている。

■ 今後の展開、実用化へのイメージ

- ・姿勢保持クッションに関しては実用化を行った。
- ・車椅子着付けに関しては、着付けの現状と一般的な着物を用いた着付け手法を展開している。今後は着付け教室などでの教育活動を行う。
- ・ポジショニング・クッションの比較検討を展開する。

■ 関連業績 (特許・文献)

- ・車いすのアームサポートの脱着機構に関する実用新案
- ・滑り止め資材開発にかかる特許

■ 研究者から一言

- ・年々変化する介護環境に対応しながら、時代が期待する福祉用具の開発や取り扱い手法に関する考え方、用具の流通などまでトータルな発想をもって開発に当たっています。
- ・近年、介護ロボット分野の依頼が多く、移乗機器や移動関連用具の開発、普及促進の仕事も行っていきます。
- ・車椅子着付け (車椅子利用者に通常の振り袖を着せる) を進めています。多くの成人と同じように、レンタルなどで自分の好きな柄を選び、好きな帯を締める楽しみを持ち、さらに長時間のイベント参加を目指した車椅子座位姿勢を視野に入れた着付けを展開しています。また、着付けにおける着付師の作業負担の軽減、利用者へ飲むような締め付けの軽減をすすめています。